

滝沢市議会全員協議会資料

[滝沢市国民健康保険の財政見通しについて]

令和３年１２月２日

健康福祉部 保険年金課

企画総務部 税務課

滝沢市国民健康保険の財政見通しについて

1 はじめに

先月の議会全員協議会では、国保財政の安定化のため7,500万円の財源を確保する必要があり、その財源として、法定内繰入金である「財政安定化支援事業繰入金」の繰り入れを行うこと等について説明いたしました。

その後、県から「財政安定化支援事業繰入金」の試算額と「国民健康保険事業費納付金」の仮算定額が示されたことから、その内容と今後の国保の財政運営について説明するものであります。

2 財政安定化支援事業繰入金の試算額

県より、令和3年11月12日付けで、法定内繰入である**財政安定化支援上繰入金の令和3年度の試算額が7,433万円と示されました。**

3 国民健康保険事業費納付金の仮算定額

同じく県より、令和3年11月12日付けで、県に納付する**国民健康保険事業費納付金の令和4年度の仮算定額が11億7,165万円と示されました。**

市の国保の財政見通しでは事業費納付金を12億533万円と見込んでおり、見込額を3,368万円下回りました。

事業費納付金の本算定額は、昨年度では仮算定額より本算定額がおおよそ900万円増加しておりますが、現時点で見込額との差額が3,000万円を超えていることから、令和4年1月に示される本算定額でも見込額を下回るものと考えます。

4 今後の国保の財政運営について

財政安定化支援事業繰入金の試算額及び国民健康保険事業費納付金の仮算定額が示されたことにより、令和4年度の財源として必要とされたとした、7,500万円を確保できる見込みがたったことから、令和4年度の国保税の引上げは必要がないものと判断しました。

なお、国保税の引上げについては、令和4年度は不要と判断しましたが、国保の安定的な財政運営を行うため、引き続き検討してまいります。